

高洲住宅 2 号棟外壁改修工事

建築改修工事特記仕様書

1. 図面及び特記仕様欄に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）」（以下「改修標準」という）による。
2. 特記仕様の適用方法
- （1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- （2）特記事項のうち、複数の項目がある場合は、○印の付いたものを適用する。
- 印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- （3）項目に記載の（ ）内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目を示す。
- （ ）は公共建築工事標準仕様書（令和4年版）の当該項目を示す。

	項 目	特 記 事 項
改修一般共通事項	① 適用基準等	※ 公共建築工事標準仕様書（令和４年版） ※ 建築工事標準詳細図（令和４年度版） （以下、標準計組図という） 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修 国土交通大臣官庁官庁官舎管理課監修
	② 着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従って着工時に提出する。 ※ 工事用製本図面（工事用A2版）（ ）部 （縮小版A3版）（２）部
	③ 施工計画書 （1.2.2）	小規模工事、工種について、監督職員の承諾を受けた場合は施工計画書の提出を省略できる。
	④ 総合図	施工図作成に先立ち、建築及び設備工事の納まりについて統合した図面（総合図）を作成し、監督職員に提出して承認を受ける。
	⑤ 電気保安技術者 （1.3.3）	適用する
	⑥ 施工条件 （1.3.5）	施工時間帯 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ○ 指定有り（ ～ 時 ～ 時 ） 協議に依る。 部位別の施工順序 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ○ 指定有り（ ～ ） 協議に依る。 工事用車両の駐車場 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ○ 指定有り（ ～ ） 協議に依る。 資機材置場 ○ 指定なし（契約後、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定する。） ○ 指定有り（ ～ ） 協議に依る。
	⑦ 工事安全計画書 （1.3.7）	「建築物工事安全施工技术指針」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」を参考に、工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
	⑧ 安全衛生管理体制 （1.3.7）	労働安全衛生法第30条第2項に基づき、同条第1項に規定する措置を講ずべきとして指名する。
	⑨ 発生材の処理等 （1.3.8）	発生材の処理にあたっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設副産物適正処理推進条例」、「建設廃棄物処理指針」、「入札条件及び指示事項」その他関係法令等に従い適切な処理を行う。 ・ 発注者に引渡しを要するもの（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ○ 再生資源化を図るもの ※ コンクリート塊 ※ アスファルトコンクリート塊 ※ 建設発生木材 ・ 特定建設資材(廃棄物以外の発生材で再資源化を図るもの) ・ ・ 管理型産業廃棄物 ・ 廃せうボード ・ 木造セメント板 ・ 特別管理型産業廃棄物 ・ PCB（施設管理向けへ引き渡し） ・ 炭石粉
	⑩ 環境負荷 （1.4.1～6）	山口県グリーン購入の推進方針及びグリーン購入ガイド(平成19年度)に基づき材料の調達をする。（以下、「グリーン購入による」という）
	⑪ 建築材料等 （1.4.1～6）	材料の選定は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、「同等承認証」を監督職員に提出し、承認を受ける。 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から４）を満たすものとする。 １）合板、木製系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層積材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上材料は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は、可塑性（フタル酸ジエーノープチ及びフタル酸ジメーニールヘキシル等を含有しない難燃性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑫ 環境への配慮 （1.4.1～6）	

14

特別な材料の工法
(1.4、1~6)

改修構仕に記載されない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法により監督職員の承認を受ける。

15

施工数量調査
(1.5.2)

調査範囲

※ 外壁（庇共） ・ 図示

調査方法

※ テストハンマーによる打診及び目視

調査要領

※ 「改修特記仕様書 7-6」及び「改修特記仕様書 7-7」による）

報告書

※ 外壁調査は、上記の調査要領により外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ等の位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行い、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。

16

調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)

補修方法

※ 図示

17

技能士
(1.6.2)

技能士の適用は下記による。

工事別	適用職種	工事別	適用職種
仮設工事	○ とび	内装改修工事	・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 瓦葺き ・ タイ張り
防水改修工事	○ 防水施工の各工作業 ・ フタ付防水 ・ 改質防水シート防水 ○ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング 防水	・ 内装仕上げ施工の各工作業 ・ 鋼鉄地下地 ・ ドーパ仕上げ ・ カベツ床床 ・ プラマック床	
外壁改修工事	○ 樹脂接着剤注入施工 ○ 左官 ・ タイ張り	塗装改修工事 ○ 塗装 耐震改修工事 ・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧入施工 ・ 鉄工	
建具改修工事	○ サッシ施工 ・ ガラス施工	屋根工事 ・ 建築板金（内外装板金作業） ・ ルーバ施工 ・ かかわりき	

18

化学物質の濃度測定
(1.6.9)

測定対象物の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に測定結果を提出する。（提出部数 部）

測定対象室及び測定箇所数
（ ） （箇所） ・ （ ） （箇所）
・ （ ） （箇所）

測定方法及び測定対象化学物質
※ 着工前濃度測定及び予備濃度測定
簡易測定法 （ ・ 検知紙法 ※ 検知管法 ・ 定電位電気法 ・ 吸光光度法 ）
測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン
※ 引き渡し前濃度測定
学校施設の場合 ※ 厚生労働省の標準測定法
学校施設以外の場合 ※ バッパン型採取機器
測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
用途が学校の場合は、ハラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定
・ その他（ ）

測定方法等については、監督職員の指示を受けること。
下記のものを監督職員に提出する。

分類 ・ 規格	撮影場所	部数	備考
※ カラー ※ サービス版（L版）	諸箇	1部	
※ 監督職員との協議により、當様工事電子納品要領（案）に基づく工事写真の電子納品を実施すること決定す。			

工事写真は、国土交通大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁監修「工事写真の撮り方（改訂第3版）-建築業」及び「当様工事写真撮影要領（平成24年度版）」に基づき明確に撮影し、整理及び提出方法は監督職員の指示による。

19

完成写真

下記のものを監督職員に提出する。

分類 ・ 規格等	撮影箇所	部数
※ カラー ※ サービス版（L版） ※ 工事用アルバム（A4版）	箇所	3部
※ キャピ本版（2L版）	・	

アルバムの表紙及び背表紙に工事名・工期・施工業者名を記入し、電子データ（JPG）と共に提出のこと。また、アルバムに写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様）
なお、電子データ（200万画素以上）は、RPG（カラー）、JPEG形式の最高画素とすること。
下記に記載されていない事項は、監督職員の指示による。

20

完成時の提出図書
(1.7.1~3)

完成図 作成方法 ※ 市指定の用紙 ※ CADデータ
種類及び記入内容 ※ 表1.8.1による。なお、仕上り表には仕上りの色番書、仕上りの材料名、メーカー名等を記入する。
※ 施工体系図を添付すること。

製本図面 黒表紙付き A4 版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。
※ 完成図 ・ 設計図 提出部数 （ 2 ） 部
工事用製本図面 A2 版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。
※ 完成図 提出部数 （ 2 ） 部

マイクロフィルム 設計図面（原図）のマイクロフィルムを作成し、工事名称、図面名称をタイプしたアバチュアガード83(97)×187(33)、フィルムA35(97)×45(33)を1部提出のこと。
保金に関する資料 （提出部数 ※ 1部 ・ 部 ・ 不要）

21

施工図及び施工計画書
(1.7.2)

提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。

2.2

設備工事との取り扱い

設備工事の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

設備工事との取り扱い	建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（煙込管、フルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	※	・
	電気のスリーブ等	・	※
	機械のフープ等	・	※
埋込み型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込及び下地補強	切込み及び補強	※	・
	電気重出し	・	※
	機械重出し	・	・ ※
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた倉）	基礎及びビット	※	・
	電気重出し	・	※
天井点検口	※	・	・
経路敷骨壁のボックス取付用下地	・	※	・
機器等の吊りルト用アンカー	電気設備	・	※
	機械設備	・	・ ※
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	※
	機械設備	・	・ ※
コンクリート基礎（外灯設備）	・	※	・
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置	※	・
	屋内設置	・	・
	屋外設置	・	・ ※
オイルサーピスタック防油堤	※	・	・
自取閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び「F+att」、20P等	※	・	・
○Aフロア・フリースアクセスフロアの切込み及び補強	※	・	・
外壁取付けガラリ	※	・	・
換気扇付、換気扇付用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	※	・	・
建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側	・	※
	2次側（留含む）	※	・
機械設備工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側	・	※
	2次側（留含む）	・	・ ※
機械設備制御盤から別途設置壁への渡り配管・配線の接続	・	※	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管	・	※	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線	・	・	※
エアコンの室内、室外ユニット間の通り配線（アース先）	・	・	※
換気扇用スイッチ本体（空調換気用、24時間換気用を除く）	・	※	・
換気扇用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付	・	※	・
機械設備工事を含む遮断弁設置の操作器及び感知器の配管・配線	・	※	・
機械設備工事を含む電柱の配管・配線	・	・	※
屋外装置の埋込ボックス	・	・	※
屋内、屋外雨水管	※	・	・

2.3

撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。

2.4

耐震及び耐外力

建築基準法に基づき定められた風速（V₀）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分

風速（m/s）	※	3	4	・
地表面粗度区分	・	I	・	II
	・	III	・	IV
垂直積雪量	m			

2.5

工事の一時中止に係る計画の作成

1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来高、職員の体制、分務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項等明らかにする。

2) 工事の施工を一時的に中止する場合は、工事の施行に備え工事現場を保全すること。

2.6

足場その他（2.2.1）

内部足場の種類	※	独立、足場板等	・
外部足場の種類	※	A 種	・ B 種
		・ C 種	
外部足場の防護シート等による養生	※	行う	・ 行わない
材料、撤去材等の運搬方法	※	A 種	・ B 種
		・ C 種	・ D 種

表2.2.1

表2.2.2

2.6

足場その他（2.2.1）

足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版 2.2.4(b)によるほか、設置にはいては、手すり先行工法に関するガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2(2)「手すり設置方式又は(3)手すり先行専用設置方式により行うこと。

2.7

既存部分の養生（2.3.1）

養生方法	※	ビニルシート等による	・
・ 固定された家具（備品、机、ロッカー等）の移動	※	行う（図示）	・
・ 既存部分における既存家具等の養生	※	ビニルシート等による	・
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生	養生方法	※	取外し再取付
	保管場所	※	構内既存庫内

表2.3.1

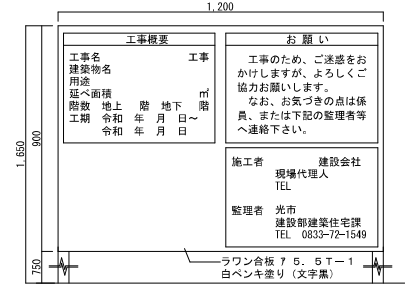
3

仮設間仕切り（2.3.2）

・ A 種	・ B 種	・ C 種	・ 図示
A種及びB種の表面材	・	石こうボード	・ 合板
A種及びB種の片面への塗装等	・	行う	※
・ 行わない			
A種のガラスウール等の充填材	・	行う（JISA3031	が7ヶ所吸音材2枚32K厚50mm）
・ 行わない			
仮設扉の設置	・	行う（木製	・ ）
・ 行わない			

表2.3.1

年度	工事名	建築改修工事特記仕様書9-1	1—
8	高洲住宅2号棟外壁改修工事		
光市建築住宅課	級建築士登録 第 号 印	設計変更 回	—

4	監督職員事務所 (2.4.1)	※ 設計ない ・ 既存建物内の一部を使用する (場所) ・ 構内に新設する 監督職員事務所の規模 (m程度) 監督職員事務所の仕上げ 部位等 仕上げ 床 合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井 合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根 塗装済垂れ釣めつき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り 設置する備品等の種類及び数量は監督職員の指示による。 構内既存の施設 ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ⑤ 利用できない ・ 小メーターを設置 構内既存の施設 ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ⑤ 利用できない ・ 小メーターを設置 	3	コンクリートの 仕上り (8.1.4) 2 混和材料 (8.2.5) 3 鋼合管理強度 (8.2.5) 4 塩化物量及び アルカリ総量 (8.6.4) 5 型枠のせき板 (8.2.7) (8.6.3) 6 既存部分の撤去 (8.19.2) 7 既存部分の処理 (8.19.3) 8 既存構造体との 取合い (8.19.6) (8.19.9) 9 コンクリートの 打ち込み (8.19.8) 10 仕上げ (8.19.10) 11 無筋コンクリート (6.14.1) (6.14.2)	合板せき板を用いた打放し仕上げの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ 混和剤の適用 (JIS A 6204による A E剤、A E減水剤、高性能 A E減水剤) ※ 混和剤の適用 (JIS A 6201によるフライアッシュの I 種又は II 種) 室内工事における温度補正 ※ 行わない ・ 行う 表8.2.4の構造体強度補正値 (S) = 6 N/mm2の適用 ・ 3 N/mm2により替える ※ 適用する コンクリート中の塩化物量 (Cl 重量) 0.30kg/m3以下 アルカリ総量 3kg/m3以下 ※ 合板 (厚さ12mm) ・ 合板 (厚さ mm) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート (評価名簿による) ・ 断熱材兼用型枠 (25mm以下かつ熱抵抗値1m ² K/㎥以上) ・ MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート) 既存仕上げの撤去範囲 ・ 図示 ※ 最小限の範囲 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示 打継ぎ面となる範囲の既存コンクリート面の目荒らしの程度 ※ 平均深さ2~5mm、最大深さが7mm程度の凹凸 新設補強筋の仕様 ※ スパイラル筋 (6φ加工、径100~125、ピッチ50) 打設工法の種類 ・ 圧入工法 ・ 流し込み工法 増設壁工事後の仕上げ ※ 図示 ※ 普通コンクリート 設計基準強度F _c スランプ 適用箇所 (N/mm ²) (cm)	6	1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.2.6) (3.3.2~3)	アスファルトの種類 3種 表3.3.3~10 工法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・ P1B1工法 ※ B-2 ・ ・ P1B1工法 ※ B1-2 ・ ・ P2A1工法 ※ A-2 ・ ・ P2A1工法 ※ A1-2 ・ ・ T1B1工法 ※ B1-2 ・ ・ M3D1工法 ※ D-2 ・ ・ M3D1工法 ※ D1-2 ・ ・ M4C1工法 ※ C-2 ・ ・ M4D1工法 ※ D1-2 ・ 屋根保護防水断熱工法の断熱材 (特定フロンを含まない) 材質 ※ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種B (スキナリ) (JIS A 9511) 厚さ (mm) ・ 25 ・ 50 ・ 成形伸縮目地材 (製造所・評価名簿による) 保護コンクリートの仕上げ ※ 直均し仕上げ 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 (製造所・評価名簿による) ・ れんが ・ コンクリート押え 屋根保護防水工法の防水層立上り部の端部の処理方法 ・ 改修種仕 (3.3.4 (d) (3) (i)) による ・ 押え金物で押さえる ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) ・ 屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に 適合するもの (JIS A 9511) 厚さ (mm) ・ 25 ・ 屋根露出防水断熱工法の断熱工法 (M3D1工法) ・ 設ける 設置数量 () 箇所 種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立上り部脱気型 ・ 設けない 2 改質アスファルト シート防水 (3.1.4) (3.2.6) (3.4.2~3)	改質アスファルトシートをトーチ工法又は常温粘着工法により施工する露出防水に適用。 表3.4.1~2 工法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・ P0AS工法 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ M3AS工法 ・ AS-U2 ・ AS-U4 ・ M4AS工法 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-U3 図示 下地処理 (3.2.6) (2) (2) 脱気装置 ※ 種類、設置数量 (改質アスファルトシート製造所の指定による) ・ 屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に 適合するもの (JIS A 9511) 厚さ (mm) ・ 25 ・ 3 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (3.1.4) (3.2.6) (3.5.2~4)	合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.1.4) (3.2.6) (3.5.2~4) 脱気装置 ※ 種類、設置数量 (ルーフィングシート製造所の指定による) ・ S-F1、S-M1の仕上り塗料塗り ※ カラー ・ シルバー S1工法の断熱材 (オゾン層を破壊する物質を使用していないこと) ・ 材質 (機械的固定工法) ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合 するもの又はA種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 (JIS A 9511) 材質 (接着工法) ※ A種ポリエチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (JIS A 9511) 厚さ (mm) ・ 25 ・ 50 ・ 機械的固定工法の場合の一層部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する。 表3.6.1 工法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・ P0X工法 ※ X-1 ・ ・ L4X工法 ※ X-2 ・ ⑤ S3X工法 ⑤ X-2 図示 新設防水層種別 X-1 の場合の脱気装置 ※ 設ける 種類、設計数量 ※ 主材料製造所の仕様による ※ 設けない L4X工法の既存仕上げ塗装除去 ※ 行う ・ 行わない POAS工法、POAS1工法、POD工法、POD1工法、POS工法、POS1工法、及びPOX工法 ※ 設ける ・ 設けない 6 既存下地の補修 (3.2.6) コンクリート、モルタル面 (立上り部を含む) コンクリート等の欠損部 m2 モルタルの浮き部 m2 既存防水層 (アスファルト) 露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う ※ 行わない (塗膜) 塗膜防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う ※ 行わない
5	工事用水		鉄骨工事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5) 2 施工管理技術者 (7.1.4) (8.2.8) 3 鋼材 (8.2.8) 4 鋼材の 溶融重めつき (7.12.3) 5 高力ボルト (8.2.9) 6 仮組 (8.12.9) 7 溶接部の試験 (8.14.11) 8 耐火被覆材の種別、 性能 (8.17.2~7) 9 既存部分の撤去等 (8.20.2) 10 既存部分の処理 (8.20.3)	加工能力 ※ 建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として許可を受けた (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める (・ Sグレード ・ Hグレード ・ Mグレード ・ Rグレード ・ Jグレード) ・ として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力がある工場 ・ 監督職員の承諾する製作工場 ・ 適用する ・ 適用しない 表8.2.5 種別の記号 規格 適用箇所 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 種別 ※ 《表4.2.2》のA種 (軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする) ※ トルシ形高力ボルト ・ J1S形高力ボルト ・ 溶融重めつき高力ボルト 高力ボルトの径 ※ 図示による すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う 仮組の実施 部位 () ※ 適用する ・ 適用しない 試験の種類 試験箇所 備考 ※ 超音波探傷試験 ※ 完全溶込み溶接部 ※ マクロ試験 (エンドタップ使用) ・ ※ 放射線試験 ・ 種別 ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火材吹付け ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け 性能 鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存仕上げの撤去範囲 ・ 図示 ※ 最小限の範囲 鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存構造体の撤去範囲 ※ 図示 ・ 設けない 鉄骨ブレースが取り付く範囲の既存コンクリート面の目荒らしの程度 ※ 平均深さ2~5mm、最大深さが7mm程度の凹凸	6	4 アスファルト防水 (3.1.4) (3.2.6) (3.3.2~3)	4 変換防水 (3.1.4) (3.2.6) (3.6.2~3)	5 改修用ドレン (3.2.5) 6 既存下地の補修 (3.2.6)	
6	工事用電力		鉄骨工事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5) 2 施工管理技術者 (7.1.4) (8.2.8) 3 鋼材 (8.2.8) 4 鋼材の 溶融重めつき (7.12.3) 5 高力ボルト (8.2.9) 6 仮組 (8.12.9) 7 溶接部の試験 (8.14.11) 8 耐火被覆材の種別、 性能 (8.17.2~7) 9 既存部分の撤去等 (8.20.2) 10 既存部分の処理 (8.20.3)	加工能力 ※ 建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として許可を受けた (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める (・ Sグレード ・ Hグレード ・ Mグレード ・ Rグレード ・ Jグレード) ・ として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力がある工場 ・ 監督職員の承諾する製作工場 ・ 適用する ・ 適用しない 表8.2.5 種別の記号 規格 適用箇所 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 ・ ※ JIS規格品 ・ JIS規格品外 種別 ※ 《表4.2.2》のA種 (軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする) ※ トルシ形高力ボルト ・ J1S形高力ボルト ・ 溶融重めつき高力ボルト 高力ボルトの径 ※ 図示による すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う 仮組の実施 部位 () ※ 適用する ・ 適用しない 試験の種類 試験箇所 備考 ※ 超音波探傷試験 ※ 完全溶込み溶接部 ※ マクロ試験 (エンドタップ使用) ・ ※ 放射線試験 ・ 種別 ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火材吹付け ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け 性能 鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存仕上げの撤去範囲 ・ 図示 ※ 最小限の範囲 鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存構造体の撤去範囲 ※ 図示 ・ 設けない 鉄骨ブレースが取り付く範囲の既存コンクリート面の目荒らしの程度 ※ 平均深さ2~5mm、最大深さが7mm程度の凹凸	6				

7	施工後の防水性能の保証	保証期間は、工事引渡日の翌日から10年間とする。		表3.1.2
8	シーリング改修工法の種類 (3.1.4) (3.7.4~7)	・ シーリング充てん工法 ・ シーリング再充てん工法 ・ 拡張シーリング再充てん工法 ・ フリッジ工法		
9	シーリング用材料 (3.7.2)	種類及び施工箇所 図示以外表3.7.1による		
10	シーリングの試験 (3.7.8)	接着性試験 ※ 簡易接着性試験 (図3.7.1による) ・ 引張接着性試験 (JIS A 1439) ・ 実積に基づく試験成績書 ・ 行わない		表3.8.1
11	とい (3.8.2~3)	材料 ・ 配管用銅管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (カラー) ・ ステンレス管 ・ 再生資源の利用 (グリーン購入による)		
12	アルミニウム製笠木 (3.9.2)	銅管製の防露 ※ 行う (施工箇所 ※ 表3.8.5) ・ 押出し形材 部材による種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 コーナ部及び突出部等の役物 笠木製造所の仕様による ・ 曲げ材 材質 JIS H 4000による 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 笠木の固定金具の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する。		表3.9.1 表5.2.2 表5.2.2
7-1	工法別使用材料 (4.2.2)	※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による低粘度形又は中粘度形 ・ 軟質形エポキシ樹脂 製造所 ※ 評価名簿による ※ シーリング用材料 ※ ポリウレタン系 ・ 可とう性エポキシ樹脂 製造所 ※ 評価名簿による ・ ポリマーセメントモルタル 製造所 ※ 評価名簿による ・ 可とう性エポキシ樹脂 製造所 ※ 評価名簿による ・ バテ状エポキシ樹脂 製造所 ※ 評価名簿による ・ エポキシ樹脂モルタル 製造所 ※ 評価名簿による ・ ポリマーセメントモルタル 製造所 ※ 評価名簿による ※ 注入用エポキシ樹脂 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による低粘度形又は中粘度形 ※ アンカーピン固定用エポキシ樹脂 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による高粘度形 ※ バテ状エポキシ樹脂 製造所 ※ 評価名簿による ・ ポリマーセメントスラリー 製造所 ※ 評価名簿による ※ 注入用エポキシ樹脂 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による中粘度形又は高粘度形 ・ ポリマーセメントスラリー 製造所 ※ 評価名簿による 吸水調整材 製造所 ※ 評価名簿による		
1	樹脂注入工法に使用するエポキシ樹脂			
2	リカットシール材			
3	充填工法用材料			
4	充填工法用材料			
5	アンカーピンニング注入工法用材料			
6	注入口付アンカーピンニング注入工法用材料			
7	モルタル塗替え工法用材料			
8	タイル張替え工法用材料	接着剤 ※ ポリマーセメントモルタル 製造所 ※ 評価名簿による ・ エポキシ樹脂 製造所 ※ 評価名簿による		
9	目地改修工法用材料			
1	外壁改修工事 (一般事項等)			
2	外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
5	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
6	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
7	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
8	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
9	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
1	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
2	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
3	外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)			
4	外			

6

ビニル床シート、
ビニル床タイル
及びゴム床タイル
(6.8.2～3)

・再生資源の利用(グリーン購入による)
・ビニル系床材
・ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法
※ 発泡層のないもの	※ F S	※ 無地	※ 2.0	※ 突付け
・ 発泡層のあるもの	・	・	・	※ 熱溶接
・ビニル床タイル				
種類	記号	厚さ(mm)	色柄	
・複層型ビニル床タイル	F T	※ 2.0	フレーン	
・置敷きビニル床タイル	F O A	※ 4.0以上	※ マーブル	
・コンポジション	K T	※ 2.0	※ 特殊柄	
・特殊機能床材(帯電防止)				
種類	記号	厚さ(mm)	備考	
・帯電防止床シート	F S	※ 2.0	帯電防止性能評価値(JISA1455) 1 / 2 以上～3、2未満又は体積電気抵抗値(JISA1454) 1 × 1 0 ¹⁰ Ω程度	
・帯電防止床タイル(置敷きビニル床タイル)	F O A	※ 4.0以上		
・特殊機能床材(帯電防止以外)				
種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	材料	
・誘導用床材、注意喚起用床材(表面形状JIS T9251)	※ 2.0	※ 300×300	※ 塩ビ	・合成ゴム
		※ 400×400	※ 合成ゴム	
・ゴム床タイル				
色柄		厚さ(mm)	製造所	
・ビニル備木				
材質	・軟質		・硬質	
厚さ(mm)	※ 1.5以上			
高さ(mm)	※ 60	・ 70	・ 100	
モルタル下地、木造下地以外の下地の工法 ※ モルタル下地、木造下地に準じた工法				

7

カーペット敷き
(6.9.2～4)

・ タルカーペット
・ 監督職員の承諾する工法

種別	パベル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	帯電防止加工	工法
※ 第一種	※ M-パベル	※ 500角	※ 6.5	・帯電性(JIS L 1021-61)	・全面接着
・第二種	・わがパベル	・	・	・3kV以下	・のり付
				・適用なし	・加工品敷き

8

合成樹脂塗床
(6.10.2～3)

・厚膜型塗床材(弾性ウレタン樹脂系塗床材)
仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材)
仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ
・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ

表6.10.3
表6.10.4～7

9

フローリング張り
(6.11.2)

・薄膜型塗床材
・単層フローリング
種別 ・ フローリングボード ・ フローリングブロック ・ モザイクパーケット
工法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法(・ 釘どめ工法 ・ 接着工法)
・複合フローリング
種別 ・ 第1種フローリング ・ 第2種フローリング ・ 第3種フローリング
表層 ・
工法 ・ 乾式工法(・ 釘留め工法(・ A種 ・ B種 ・ C種) ・ 接着工法)
端種 ※ なら ・
接着工法 モザイクパーケットの厚さ： 大きさ：
・縦衝材 ※ 合成樹脂発泡シート
塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・生地そのままワックス塗り
種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種
D種の場合の塗床記号 ・ KT-I ・ KT-II ※ KT-III ・ KT-K ・ KT-N

表6.12.1

10

畳敷き
(6.12.2)

11

せっこうボード、
その他ボード及び
合板張り
(6.13.2)

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
※ グリーン購入による
・合板
・再生木質ボード(・ パーティクルボード ・ 繊維板 ・ 木質系セメント板)

12

壁紙張り
(6.14.2～3)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

13

タイル張り
(6.16.2～5)

伸縮調整目地の位置 ※ 図示による
・材料製造所 ※ 評価面陣による
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分I類II類III類	うわぐすりぬゆすりありなし	役物	色	耐凍害性	防滑性	備考
		I類 II類 III類	ぬゆすりありなし	標準	特注	ありなし		
		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	※ ・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	
		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	※ ・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	
		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	※ ・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	

※ 再生資源の利用(グリーン購入による)
・再生材利用タイル(施工箇所)
役物使用箇所
内装
外装

タイルの試験張り ・ 行わない ・ 行う (適用箇所：)
タイルの見本焼き ・ 行わない ・ 行う (適用箇所：)
施 工 内装タイル ・ 改修積上げ張り ・ 壁タイル接着剤張り 表6.16.4
・接着剤による陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分I類II類III類	うわぐすりぬゆすりありなし	役物	色	耐凍害性	備考
		I類 II類 III類	ぬゆすりありなし	標準	特注	ありなし	
		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	※ ・ ・ ・	・ ・ ・	
		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	※ ・ ・ ・	・ ・ ・	
		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	※ ・ ・ ・	・ ・ ・	

※ 再生資源の利用(グリーン購入による)
・再生材利用タイル(施工箇所)
役物使用箇所
内装
外装

タイルの試験張り ・ 行わない ・ 行う (適用箇所：)
タイルの見本焼き ・ 行わない ・ 行う (適用箇所：)
内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

14

防火材料
(7.1.3)

防火材料 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

15

既存塗膜の除去
(7.2.1)

塗替え種別がR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※ 塗替え面積の30% ・

16

下地調整
(7.2.2～7)

塗替え 新規
・ 本部 不透明塗料塗り (※ R B種 ・)(※ R A種 ・) 表7.2.1
透明塗料塗り (※ R B種 ・)(※ R B種 ・)
・ 鉄鋼面 (※ R B種 ・)(※ R A種 ・) 表7.2.2
D P塗りを除く
・ 亜鉛めっき面 (※ R B種 ・)(※ R A種 ・) 表7.2.3
・ 亜鉛めっき面(鋼製建具) (※ R B種 ・)(※ R C種 ・) 表7.2.3
・ 珪外面、フラスター面 (※ R B種 ・)(※ R A種 ※ R B種) 表7.2.4
ひび割れ部の修繕 外壁 ※ 「7ー3外壁改修工事(珪外面仕上げ外壁)」による
内壁 ※ 監督職員の承諾する工法
・ コンクリート面、ALC面 珪面 (※ R B種 ・)(※ R A種 ※ R B種) 表7.2.5
・ コンクリート面、押出成型珪面 珪面 (※ R B種 ・)(※ R A種 ※ R B種) 表7.2.6
ひび割れ部の修繕 外壁 ※ 「7ー2外壁改修工事(コンクリート打ち仕上げ外壁)」による
内壁 ※ 監督職員の承諾する工法
・ 石こうボード、及びその他ボード面(※ R B種 ・)(※ R A種 ・ R B種) 表7.2.7
鉄鋼面 新規D P塗り ※ B種

表7.3.1～4

17

素地ごしらえ
(18.2.3)

18

錆止め塗料塗り
(7.3.2～3)

表7.3.1～4

19

耐震改修工事
(7.3.4～5)

表7.3.1～4

20

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

21

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1種

表7.4.1～7.15.1

22

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

23

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

24

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

25

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

26

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

27

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

28

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

29

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

30

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

31

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

32

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

33

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

34

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

35

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

36

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

37

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

38

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

39

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

40

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

41

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

42

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

43

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

44

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

45

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

46

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

47

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

48

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

49

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

50

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

51

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

52

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

53

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

54

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

55

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

56

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

57

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

58

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

59

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

60

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

61

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

62

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

63

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

64

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

65

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

66

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

67

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

68

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

69

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

70

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

71

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

72

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

73

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

74

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

75

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

76

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

77

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

78

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

79

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

80

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

81

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

82

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

83

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

84

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

85

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

86

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

87

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

88

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

89

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

90

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

91

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

92

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

93

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

94

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

95

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

96

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

97

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

98

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

99

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

100

仕上り塗料塗り
(7.4.4～5)

表7.4.1～7.15.1

年度

8

工事名

高洲住宅 2号棟外壁改修工事

建築改修工事特記仕様書9-5

4

—

光市建築住宅課

級建築士登録 第 号

設計変更 回

—

```

graph TD
    Start([外壁改修工事（塗り仕上げ外壁）]) --> D1{劣化現象}
    D1 --> B1[ひび割れ]
    B1 --> D2{ひび割れの  
挙動}
    D2 -- 挙動する --> T1[ひび割れ幅]
    D2 -- 挙動しない --> T2[ひび割れ幅]
    
    T1 -- 0.2mm未満 --> M1[シール工法]
    T1 -- 0.2mm以上  
1.0mm未満 --> M2[樹脂注入工法]
    T1 -- 1.0mm以上 --> M3[ウレタン材料充填  
工法（可とう性  
味や樹脂を充填）]
    
    T2 -- 0.2mm未満 --> M4[シール工法]
    T2 -- 0.2mm以上  
1.0mm未満 --> M5[樹脂注入工法]
    T2 -- 1.0mm以上 --> M6[ウレタン材料充填  
工法（可とう性  
味や樹脂を充填）]
    
    M1 --> E1[設計数量  
m]
    M2 --> E2[設計数量  
m]
    M3 --> E3[設計数量  
m]
    M4 --> E4[設計数量  
m]
    M5 --> E5[設計数量  
m]
    M6 --> E6[設計数量  
m]
    
    E1 --> End([外壁改修工事（塗り仕上げ外壁）])
    E2 --> End
    E3 --> End
    E4 --> End
    E5 --> End
    E6 --> End
  
```

劣化現象

欠損

欠損の程度

0.25m²以下

0.25m²超

構造体のコンクリートの劣化を含む剥落欠損

モルタルのコンクリート構造体面からの欠損

モルタル表面の切片状に生じた浅い欠損

劣化の程度

有

無

構造耐力に關連しないコンクリートの劣化

構造耐力に關連しないコンクリートの劣化

鉄筋が露出している場合

コンクリート表面のはがれが切片状に生じた浅い欠損の場合

充填工法 (※セメントモルタル)

設計数量 m²

充填工法 (※セメントモルタル)

設計数量 m²

モルタル塗替工法

設計数量 m²

2.72 m²

0.68 × 4 = 2.72

モルタルを撤去して改修

1箇所の面積

0.25m²以下

0.25m²超

通常レベルの打撃で剥落の恐れのあるモルタルの浮き

モルタルを撤去しないで改修

1箇所の浮き面積

0.25m²以下

0.25m²超

浮き代

1.0mm以上

1.0mm未満

フルバディンク全面※樹脂注入工法

設計数量 m²

フルバディンク全面※樹脂注入工法

設計数量 m²

20.0 m²

フルバディンク部分※樹脂注入工法

設計数量 m²

11.4 m²

フルバディンク部分※樹脂注入工法

設計数量 m²

1.14 × 10 = 11.4

浮き

浮きの程度

左記以外のモルタルの浮き

モルタルを撤去しないで改修

構造体のコンクリートの劣化を含む浮き

別途

ひび割れ

ひび割れの程度

0.2mm未満

0.2mm以上

ひび割れからの漏水

有

無

周辺モルタルの浮き

有

無

モルタルを撤去しないでモルタル表面の改修

モルタルを撤去して構造体コンクリート面の改修

ひび割れ幅

0.2mm未満

0.2mm以上

1.0mm以上

1.0mm未満

シール工法

樹脂注入工法

ウレタン材充填工法 (可とう性※樹脂を充填)

0.25m²以下

0.25m²超

充填工法 (※セメントモルタル)

設計数量 m

モルタル塗替工法

設計数量 m

シール工法

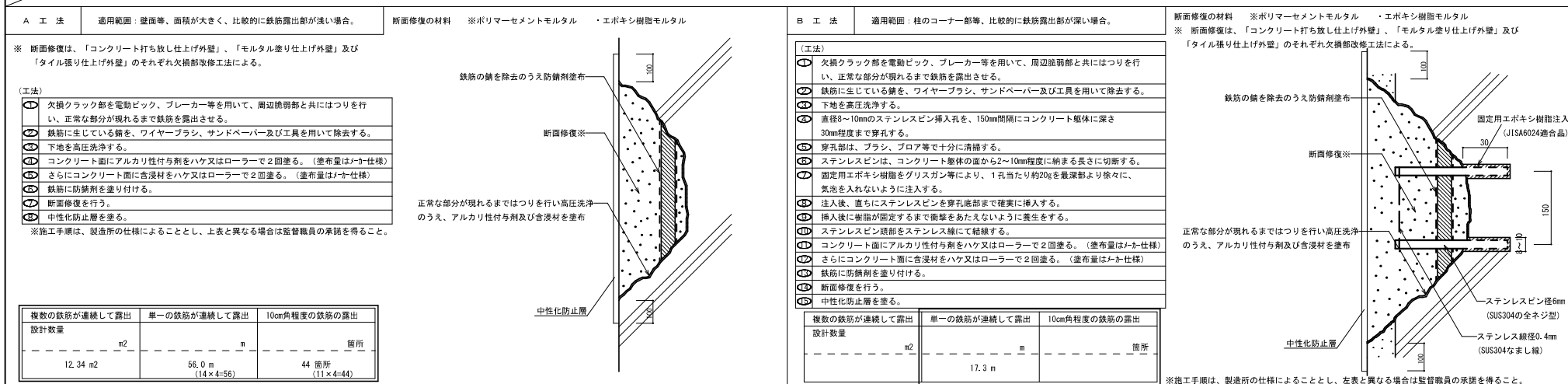
設計数量 m

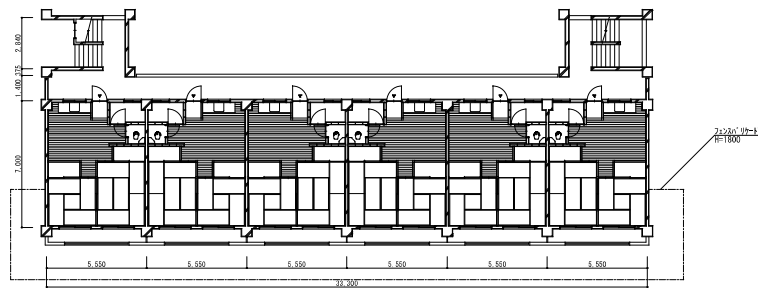
125 m

12.5 × 10 = 125

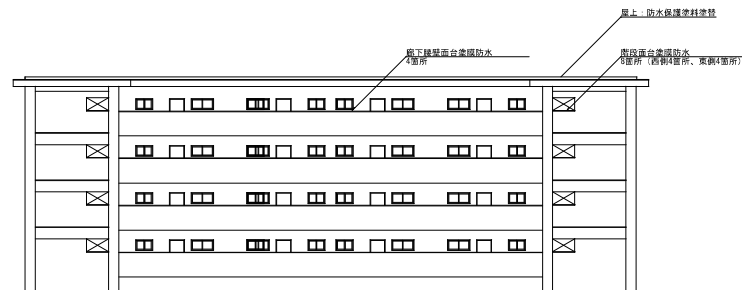
外壁改修工事 (塗り仕上げ)

○	高洲住宅2号棟外壁改修工事	建築改修工事付託記録書(○)	5	1
光市建築住宅課	般建築士登録 第 号 印	設計変更 回	—	

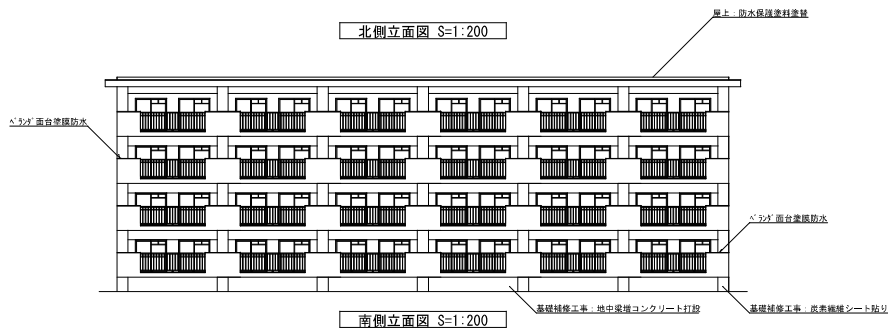




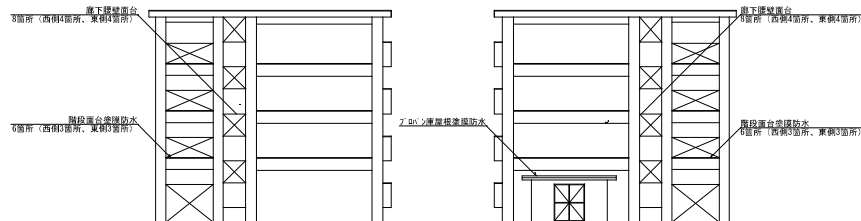
1~4階平面図 S=1:200



北側立面図 S=1:200



南側立面図 S=1:200



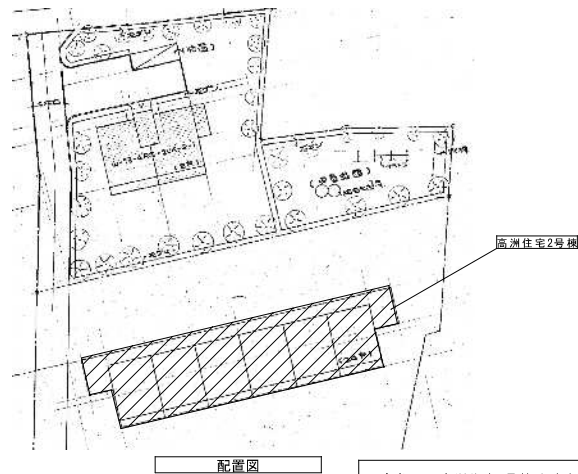
西側立面図 S=1:200

東側立面図 S=1:200

工事概要	
1、直接仮設工事	枠組木足場、脚立足場
2、外壁改修工事	<劣化部改修> 外壁調査 外壁・ベランダ上裏・庇上裏・廊下上裏 <仕上げ改修> (外壁、軒先) サンダー工法(既存塗膜浮部) 水洗い、下地調整(C-1)、外装薄塗材E (ベランダ上裏、廊下上裏、軒先、庇裏) サンダー工法(既存塗膜浮部) 水洗い、下地調整(C-1)、外装薄塗材E (庇、小庇、ガス庫屋根等) ウレタン塗膜防水
3、その他工事	物干塗装 ガス庫扉塗装 サッシ廻りシール打ち替え 防水保護塗料塗替 屋上点検口塗装 衛星放送アンテナ仮移設・復旧
4、基礎補修工事	地中梁増コンクリート打設 炭素繊維シート貼り

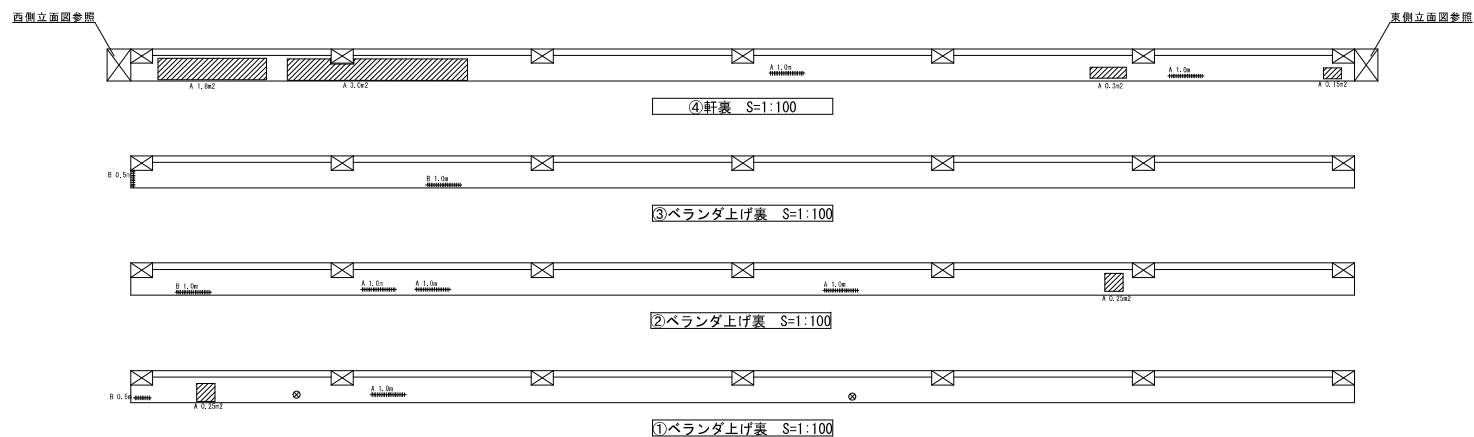
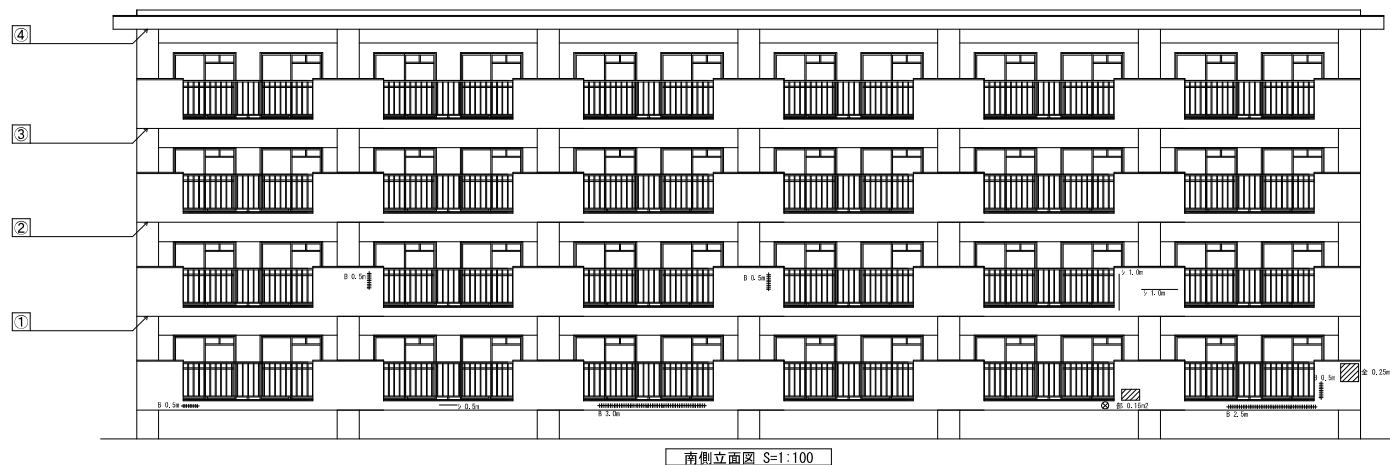
外壁仕上げ材・上裏仕上げ材：アスベスト無(分析調査済)

施工条件	
・工程を逐一入居者に伝達し、ベランダ内設備(洗濯機、物干等)の使用可否を周知すること。	
・施工期間中ベランダ内設置の洗濯機を使用できるようにすること。	
・工程を工夫し、ベランダ内設備が使用不可になる期間を最小限とすること。	



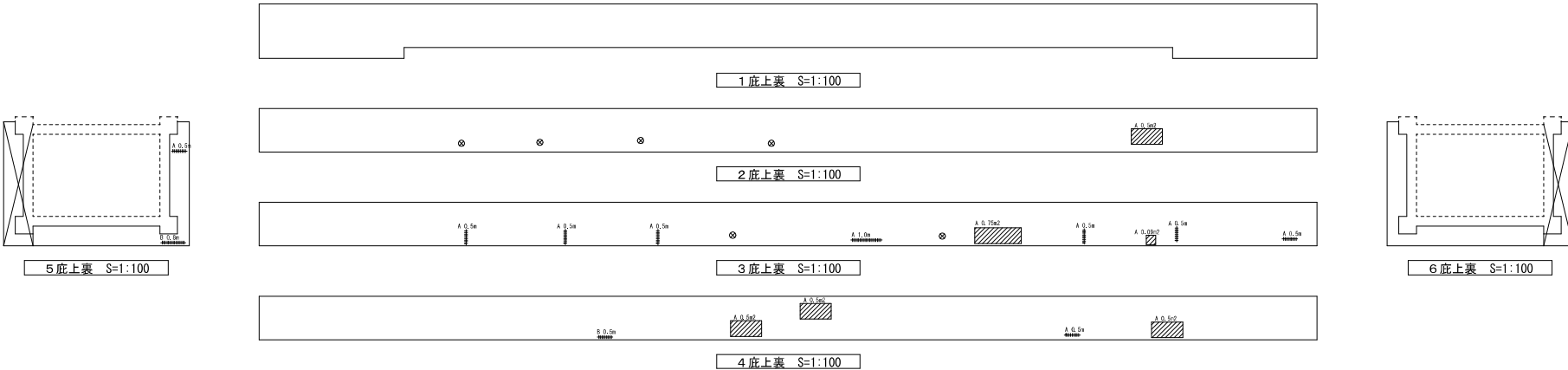
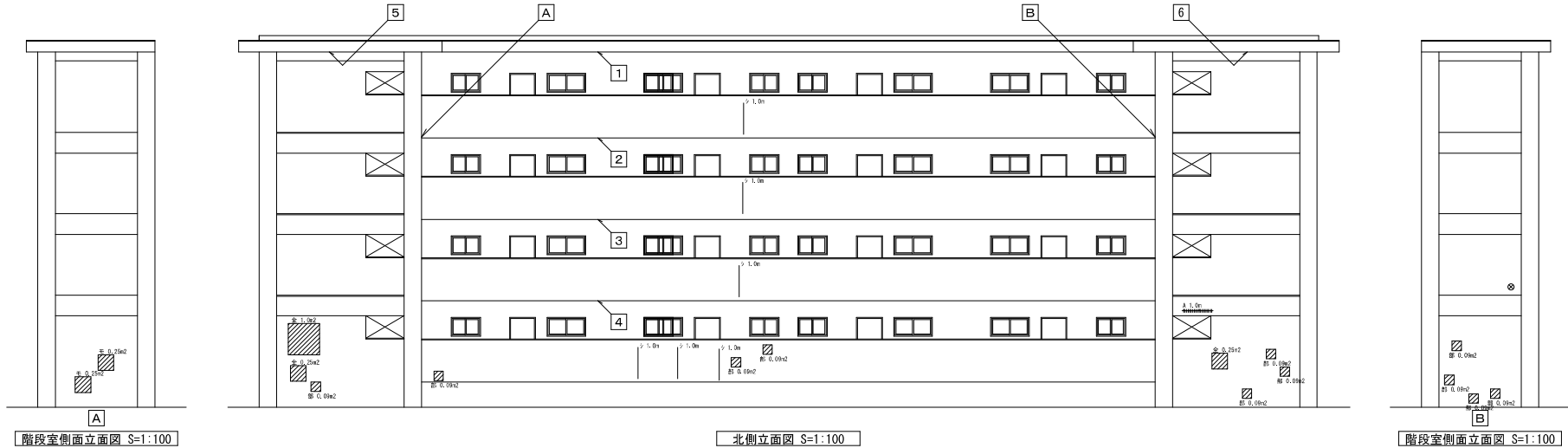
配置図

工事名 高洲住宅2号棟外壁改修工事					NO. 7
種別 全体工事概要					縮尺
設計 級建築士登録第 号					令和8年
部長	課長	係長	製図	写図	月 日



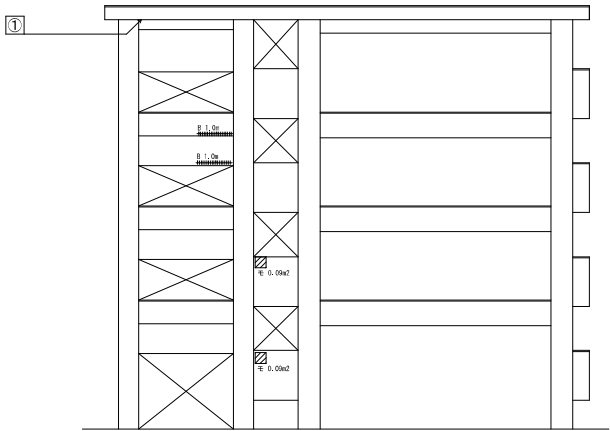
断面補修部集計		工 法	数 量
	例	ｼｰﾙ工法	2.5m
		樹脂注入工法	
		ｳｰﾄﾊﾞｰﾝ材充填工法	
		鉄筋補修A工法	6.0m
		鉄筋補修B工法 (10cm程度)	3箇所
		鉄筋補修B工法	10.5m
		先置工法	
		ｽﾁﾙﾍﾞｰﾙ替え工法	
		ﾌｧｲﾊﾞｰﾒﾝﾍﾞｰﾙ 部分ｼｰﾙ/樹脂注入工法	0.15㎡
		ﾌｧｲﾊﾞｰﾒﾝﾍﾞｰﾙ 全面ｼｰﾙ/樹脂注入工法	0.25㎡
		鉄筋補修B工法 (複数の鉄筋が連続して貫出)	5.75㎡

工事名 高洲住宅2号棟外壁改修工事					No. 8	
種 別		立面図			縮尺	
設 計		級建築士登録第 号			令和8年	
部長	課長	係長	製図	写図	月	

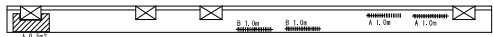


北面損傷部集計			
凡 例	工 法	数 量	
◀	ノール工法	6.0m	
△	樹脂注入工法		
□	U字ノール材充填工法		
△	鉄筋補修A工法	6.0m	
⊗	鉄筋補修A工法 (10cm角程度)	7箇所	
△	鉄筋補修B工法	1.3m	
△	充填工法		
△	タタキ塗り替え工法	0.5m2	
△	アールベ「シンク」部分16「杉」樹脂注入工法	0.99m2	
△	アールベ「シンク」全面16「杉」樹脂注入工法	1.5m2	
△	鉄筋補修A工法 (複数の鉄筋が連続して露出)	2.84m2	

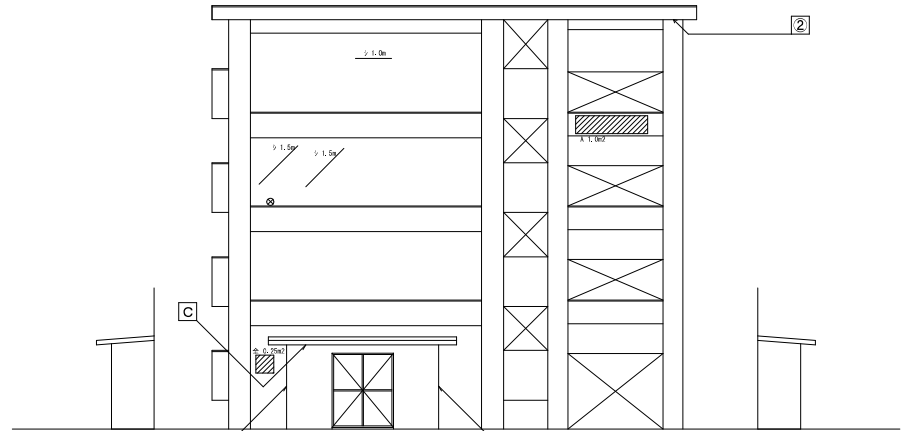
工事名					高洲住宅2号棟外壁改修工事		NO.	
種 別		立面図					9	
設計		緑建築士登録第 号					縮尺	
							令和8年	
部長		課長	係長	製図	写図	月 日		



西側立面図 S=1:100



①軒裏 S=1:100



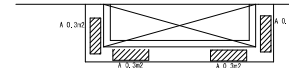
A 立面図 S=1:100

東側立面図 S=1:100

B 立面図 S=1:100



②軒裏 S=1:100



C 上裏図 S=1:100

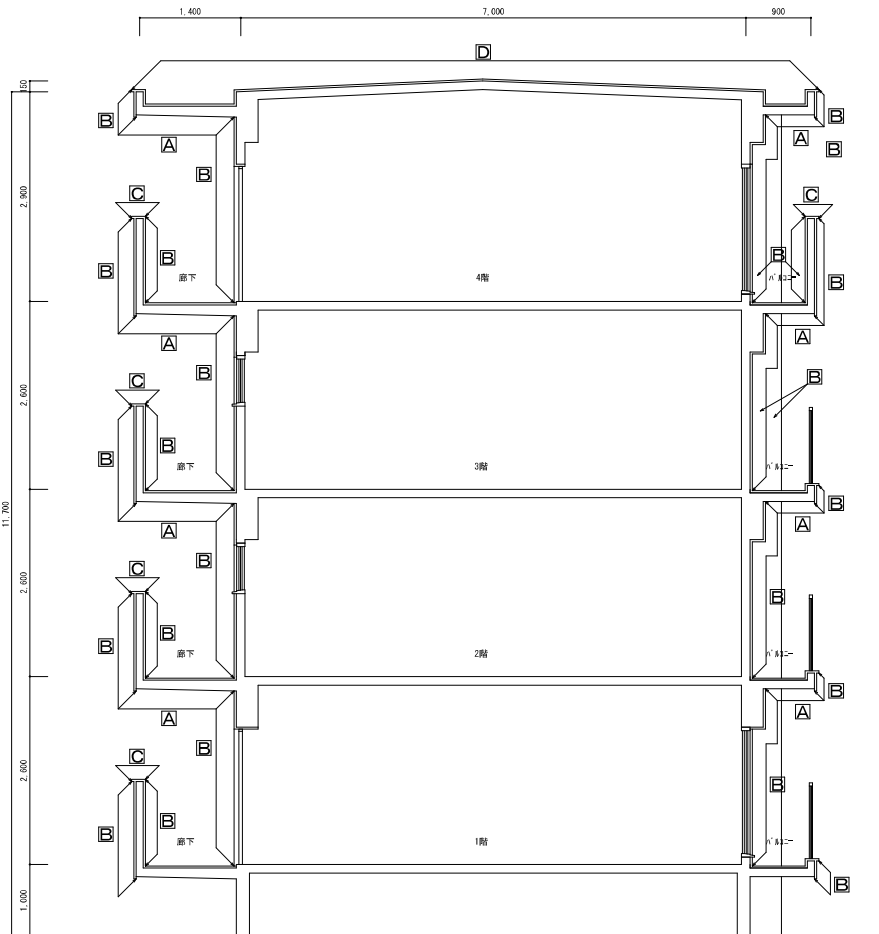
東・西面損傷部集計

凡	例	工 法	東 面	西 面
◀	シロ	シロ工法	4.0m	
◀	樹	樹脂注入工法		
◀	U	U字シロ材充填工法		
◀	A	鉄筋補修A工法		2.0m
⊗		鉄筋補修A工法 (10cm角程度)	1箇所	
◀	B	鉄筋補修B工法	1.5m	4.0m
◀	充	充填工法		
◀	キ	キタ塗り替え工法		0.18m2
◀	部	アケベシロ材 部分1/2 杉樹脂注入工法		
◀	全	アケベシロ材 全面1/2 杉樹脂注入工法	0.25m2	
◀	A	鉄筋補修A工法 (複数の鉄筋が連続して露出)	3.25m2	0.5m2

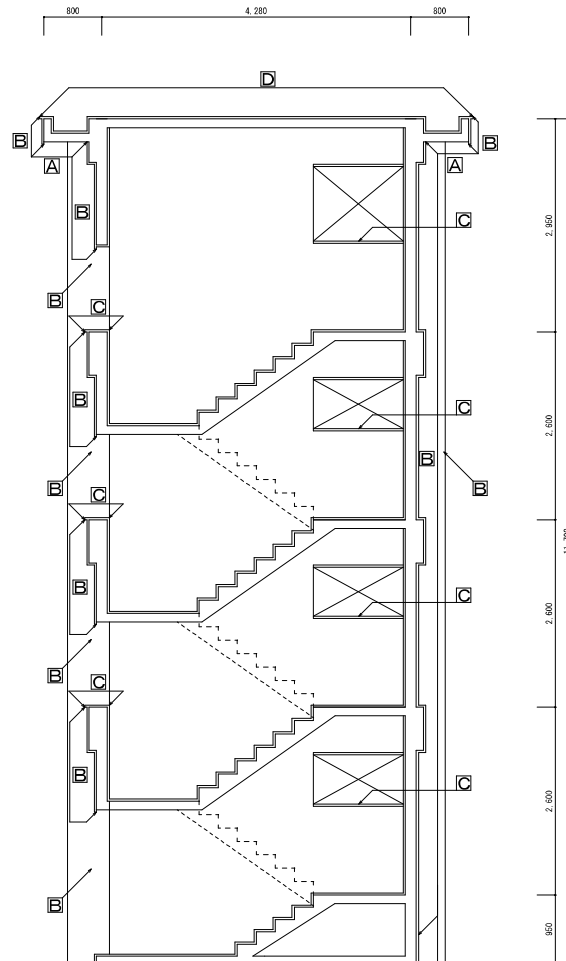
全注損傷部集計

凡	例	工 法	施 工 面				
			東	西	南	北	合 計
◀	シロ	シロ工法	4.0		2.5	6.0	12.5
◀	樹	樹脂注入工法					
◀	U	U字シロ材充填工法					
◀	A	鉄筋補修A工法		2.0	6.0	6.0	14.0
⊗		鉄筋補修A工法 (10cm角程度)	1		3	7	11
◀	B	鉄筋補修B工法	1.5	4.0	10.5	1.3	17.3
◀	充	充填工法					
◀	キ	キタ塗り替え工法		0.18		0.5	0.68
◀	部	アケベシロ材 部分1/2 杉樹脂注入工法			0.15	0.99	1.14
◀	全	アケベシロ材 全面1/2 杉樹脂注入工法	0.25		0.25	1.5	2.0
◀	A	鉄筋補修A工法 (複数の鉄筋が連続して露出)	3.25	0.5	5.75	2.84	12.34

工事名		高洲住宅2号棟外壁改修工事		NO.	
種 別		立面図		10	
設計		級建築士登録第 号		縮尺	
部長		課長		令和8年	
係長		製図		月 日	
製図		写図			



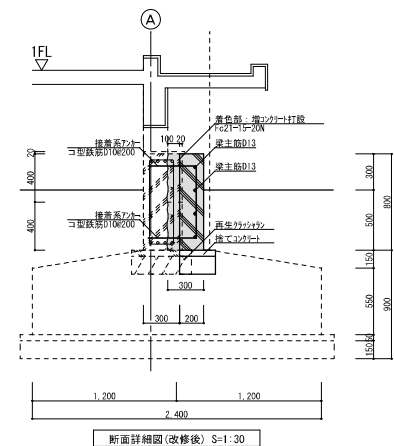
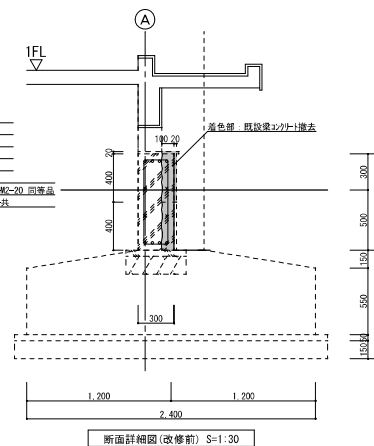
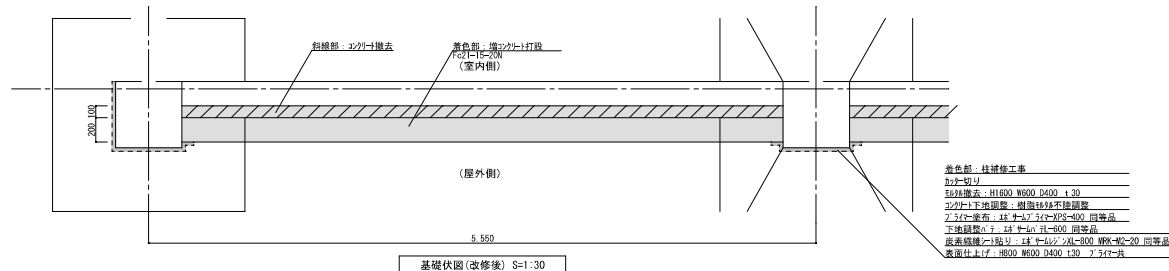
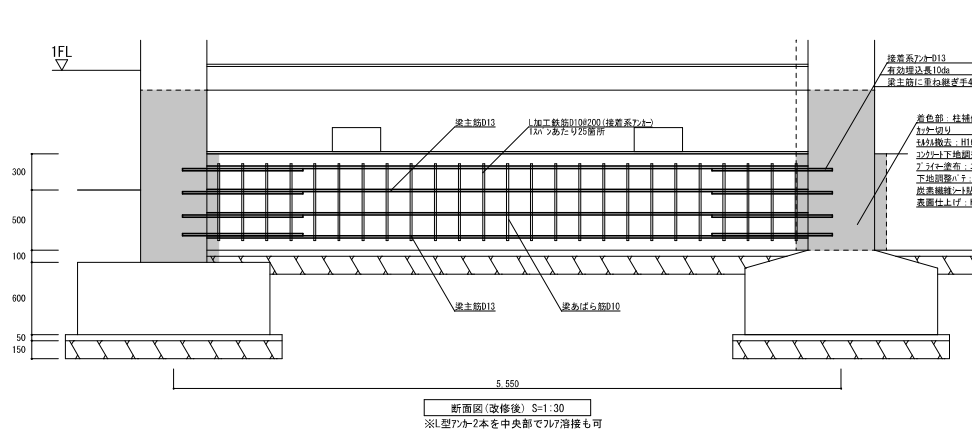
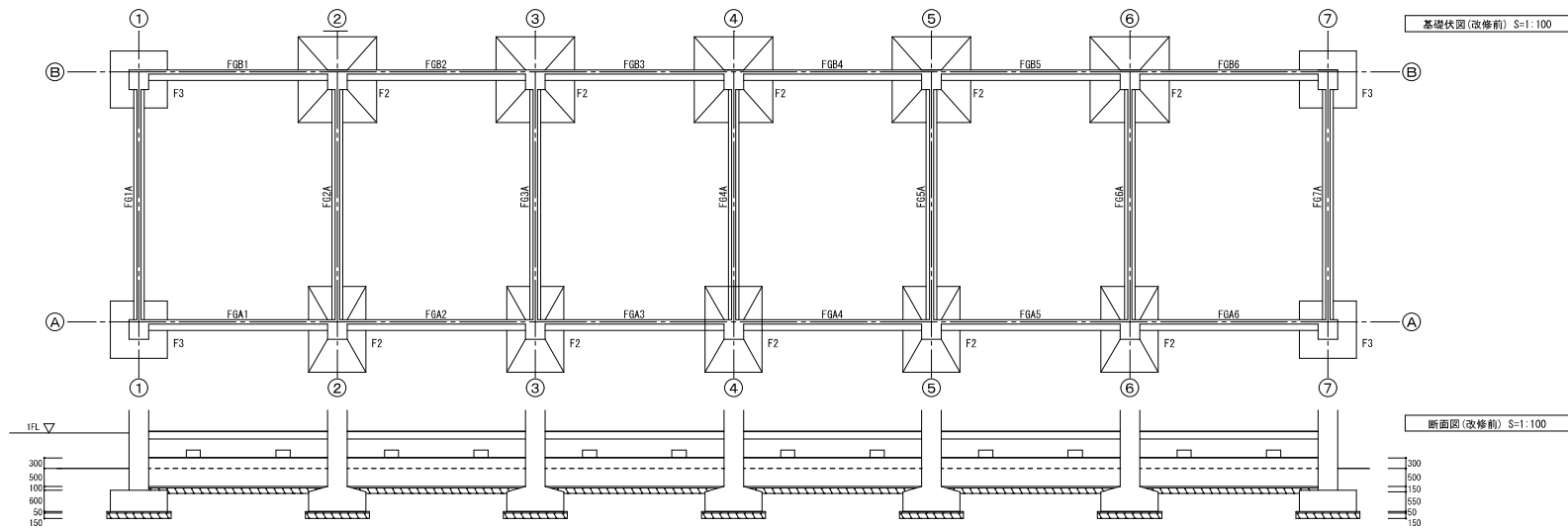
断面図 S=1:50



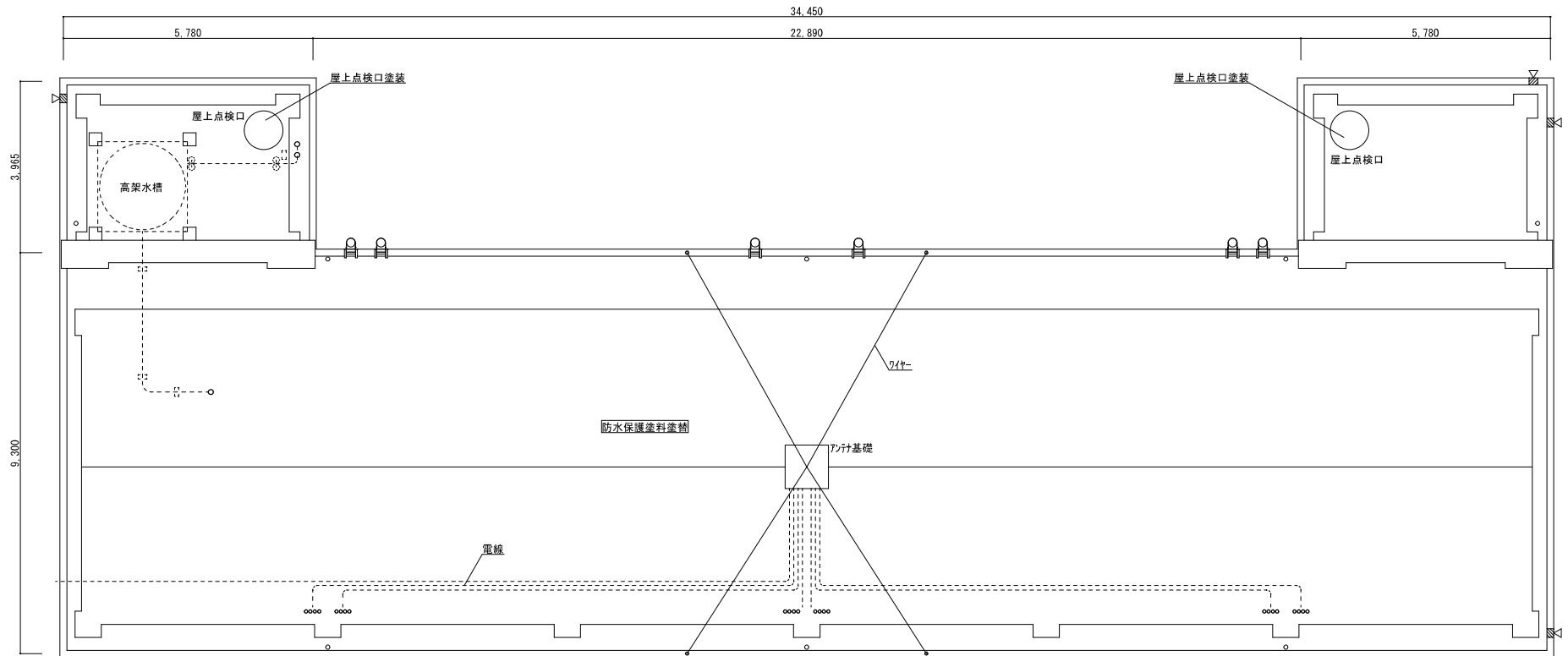
階段室断面図 S=1:50

仕上改修工事	
A	ベランダ・廊下上裏・軒裏・応裏 サンダー工法（既存塗膜浮部） 水洗い、下地調整（C-1）、外装薄塗材E（ｼﾙｸﾎｰﾙ同等）
B	外壁・軒先 サンダー工法（既存塗膜浮部） 水洗い、下地調整（C-1）、外装薄塗材E（ｼﾙｸﾎｰﾙ同等）
C	バルコニー床屋根・階段腰壁面台・ベランダ面台・廊下腰壁面台 水洗い、下地調整 ｸﾚｯｼﾝｸﾞ塗膜防水（X-2 工法）
D	屋上（既設：改質ｱｽﾌﾙﾄ防水） 高圧水洗い 防水保護塗料塗替（遮熱ｺｰﾄ、珪砂入り） ｱｽﾌﾙﾄ押え金物取合いｼｰﾘﾝｸﾞ増し打ち（ﾋﾞｽｷｯｸﾌﾞ取付共）

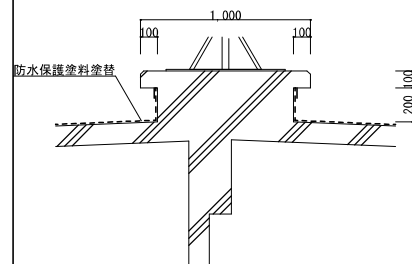
工事名 高洲住宅2号棟外壁改修工事					NO. 11
種別	断面図				縮尺
設計	級建築士登録第 号				令和8年
部長	課長	係長	製図	写図	月 日



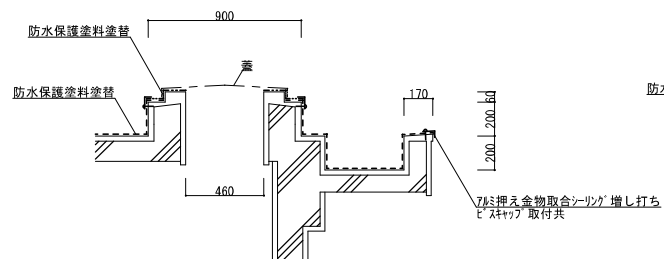
工事名 高洲住宅2号棟外壁改修工事					N0.	12
種別	基礎補修工事				縮尺	
設計	総建築士登録第 号				令和8年	
部長	課長	係長	製図	写図	月	日



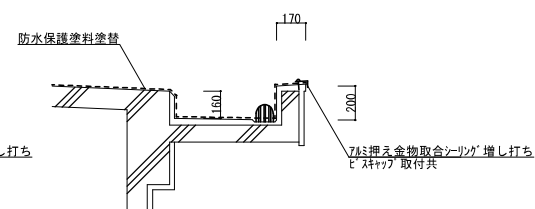
平面図 S=1:100



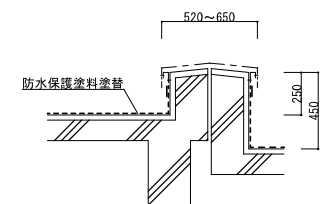
アンテナ基礎断面図 S=1:20



屋上点検口断面図 S=1:20



ハーフカット断面図 S=1:20



エッジ断面図 S=1:20

工事名	高洲住宅2号棟外壁改修工事	設計図	No. 13
種別	屋根平面図		
設計	光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号	縮尺	令和 8 年 月